



主体的学び研究所

ICEルーブリック® 研究会

コロナ禍オンライン授業における
教育と学習の本質をICEで考える

2020年11月14日(土)

13時00分～15時00分

オンライン開催

参加費無料





コロナ禍オンライン授業における 教育と学習の本質をICEで考える

- コロナ禍での教育はオンラインと対面のハイブリッドな学びへと移っています。様々な工夫や組み合わせによって主体的学びが継続されています。
- 事前課題のジョン・タグ先生とディ・フィンク先生、ゲーリー先生の鼎談は2018年のコロナ禍前に収録されたものですが、この状況下にあっても「学びの本質とは何か」を私たちに鋭く問うています。
- 今回のICEルーブリック研究会では、この鼎談をもとにICEで議論を深めていくことにしました。
- ICEをまだよく知らない方も参加できるようにプログラムしました。ICE実践者の方もさらなる気づきへとつながる前・後編ワークにご参加ください。

概要



- **日程**：2020年11月14日（土） 13:00～15:00 Zoomミーティング
15:10～16:10 オンラインFD（希望者のみ）
- **テーマ**：「コロナ禍オンライン授業における教育と学習の本質をICEで考える」
ファシリテーション 土持ゲーリー法一先生
- **参加費**：無料（オンラインFDも無料です）
- **参加対象**：主に教育関係者
 - ブレイクアウトセッションに参加できる方 http://www.activellj.jp/?page_id=1150
 - ICE実践者の方。ICEの実践経験のない方も議論に参加いただけます。
- **事前課題**：『ジョン・タグ教授とディ・フィンク教授による「世紀の対談」―「教育パラダイム」と「学習パラダイム」における教育と学習を語る』 **前編** を視聴して“ICE”の視点でまとめる。
詳細は申し込み後にお知らせいたします。（鼎談の**後編**は次回研究会で予定しています。）
- **お申込み（お問い合わせ）**
 - allinfo あっと activellj.jp（※あっとをマークに直して、下記の項目をメールください）
 - ①お名前／フリガナ ②ご所属・部署 ③役職、職位等 ④emailアドレス ⑤ご連絡先電話番号
 - ⑥ICE実践者あるいは未経験かの別（理論のみご存知の方はその旨お書きください）

※お申込み受領メールを1～2日で返信いたします。未着等、ご不明な場合はお手数ですが再度メールをくださいますよう、お願い申し上げます。
- **申し込み締め切り** 11/12(木)正午まで